

平成23年行政事業レビューシート (国土交通省)

事業名	気候変動に対応した水利用の調整制度に関する検討経費		担当部局庁	水管理・国土保全局		作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度	H22/H23		担当課室	水政課		課長 山崎篤男	
会計区分	一般会計		施策名	6 水資源の確保、水源地域活性化等を推進する			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	「水災害分野における地球温暖化に伴う気候変化への適応策のあり方について」(社会資本整備審議会答申)			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	気候変動に伴い、大規模渇水、融雪水の減少等により水利用への影響等が懸念されていることから、利水者間の円滑な水のやりとりを通じて、時々の需要に応じた合理的な水利用の実現を図ることを目的とする。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	諸外国での現地調査により、水利権取引等に関する制度及び実例、渇水リスクの増大に対応した近年の制度改革等について情報を収集するとともに、国内の水利用に関して、関係者のヒアリング等により我が国の水利調整等の実態を把握する。また、これらの調査結果をもとに、有識者による検討委員会において、諸外国及び国内の水利用調整の分析を行い、合理的な水利用のあり方に関する考え方をとりまとめる。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
	予 算 の 状 況	当初予算	-	-	11	9	-
		補正予算	-	-	-	-	-
		繰越し等	-	-	-	-	-
		計	-	-	11	9	-
	執行額	-	-	11	-	-	
執行率 (%)	-	-	98.21%	-	-		
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (23年度)
	26 渇水影響度	成果実績	日・%	-	-	-	5,300
		達成度	%	-	-	-	-
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	国内外の水利権制度・水融通等に関する報告書	活動実績 (当初見込み)	一式	-	-	-	-
					-	(55%)	(100%)
単位当たり コスト	20,050(千円/1式)		算出根拠				
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由			
	計						

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	－	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	－	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	－	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>逐次、打合せ及び電話連絡等により、業務の進捗状況の把握を行い、適正に業務が遂行されているか確認を行った。また、契約時に、業務の主たる部分に係る再委託は禁止しており、結果、再委託はしていない。今後においても調査手法等の改善を通じ、効果的・効率的な事業遂行に努める。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
廃止 ⑧	<p>国内外における水利調整等の調査結果をもとに、合理的な水利用のあり方に関する考え方の整理などが進み、本事業の内容は概ね終了、一定の成果が見込まれることから、廃止する。</p>		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
廃止			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			

※平成22年度実績を記入

国土交通省
11百万円

諸謝金
0.2百万円

職員旅費
0.1百万円

委員等旅費
0.1百万円

業務発注、全体管理、学識
経験者による検討会運営等

【総合評価方式一般競争入札】

A. (株)建設技術研究所
10百万円

過去の水利権融通等に関する
海外事例の収集・整理、水融通
に関する国内現地調査、水利権
取引等に関する海外現地調査

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
行っているかについて
補足する)(単位:百万円)

A.(株)建設技術研究所			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
調査費	過去の水利権融通等に関する海外事例の収集・整理、水融通に関する国内現地調査、水利権取引等に関する海外現地調査、ヒアリング等	10			
計		10	計		0
B.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)建設技術研究所	過去の水利権融通等に関する海外事例の収集・整理、水融通に関する国内現地調査、水利権取引等に関する海外現地調査、ヒアリング等	10	2	98.56%
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					